



森ボラ 通信

第202号 2018年11月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8・ラルズ生活研究センター

TEL (fax): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆チェーンソー技能・安全研修行われる

2018年10月30日(火) 9:00~13:00に、北海道森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会(以下「多面協議会」)主催で表記研修が澄川都市環境林で行われました。当日の受講者は当会会員11名、北海道各地の他団体4名の他当日参加の当会会員数名が傍聴しました。講師は、「多面協議会」専任講師、北海道林業機械化協会・専任講師9名が担当しました。以下に講習内容の概要を述べます。

1. 知識研修(座学)

(1) 保育については、主に針葉樹人工林の育林管理や間伐の考え方を学びました。その中で当会において検討する項目として、広葉樹間伐の目標、大径木、ホダ木やマキ材を兼用するか、育成する将来木を早期に選び、その成長を妨げる個体を間伐する「将来木施業」などと思われました。

(2) チェンソーの構造等については、一般的に用いられているは2サイクルエンジン、燃料は1/50の混合油、チェーンオイルを同時に給油する。

(3) チェンソーの安全な操作については、雇用する場合は平成27年からチャップス着用が義務化されています。靴では滑らないこと、つま先、かかとにプロテクターを入れたチェーンソー用の安全靴を履くこと。伐木作業では樹高の2倍の範囲に進入禁止、山の斜面で上下作業の禁止、かかり木処理の仕方に特に注意が必要です。強風(10m)、大雨(50mm)、大雪(25cm)などの荒天時は作業を中止する。

(4) 振動障害等については、チェーンソーのエンジン振動が小さく伐採する樹木に合った軽量小型のものを選定する。操作時間は一日2時間以内、一連続操作時間10分以内を守る。保護具として防振手袋、耳栓、保安帽、防塵眼鏡、脛当てなどを必ず着用する。作業をしている間は体を冷やさず、暖かい服装、食事を心がけ、休憩は暖かい場所を用意する。



座学の様子



実技研修

2. 実技研修

(1) チェンソーの模範操作では、安定した姿勢でハンドルを正しく握り、チェーンソーの重量を木にあずける。実際の方法は先回し切り、元回し切り、平行切り、突っ込み切りを操作してもらいました。

(2) チェンソーの操作実習では、受講生が3、4人ずつ1班となり専任講師に模範操作の内容を一人ずつ実際の丸太を切りながら教えてもらいました。受講生の技術度合いはそれぞれ異なるので、慣れない人は2、3度実習してもらいました。

(3) 間伐実習は澄川環境林B-3区で行われ、すでにマーキングしてある整理伐材を一人1、2本ずつ担当して修正点を教わりながら確認しました。



目立て講習の様子

3. チェンソーの整備・点検・目立て

最後はチェンソーの分解、掃除、組み立てと目立てを習いました。普段は自己流で刃を研いでいる方も多く、真剣に講習を受けていました。これからは快適に活動が出来るでしょう。

最後にこのような機会を与えて頂いた「多面事務局」、「北海道林業機械化協会」の皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。(文・樫棒)

■ 活動報告

◆木を育て、森の恵みを味わう

～2018 年度親子森林教室・森しり隊の第5回活動報告～

第5回親子森林教室・森しり隊は10月14日(日)に隊員8名、保護者など8名、協会員17名の総勢33名の参加で開催されました。雲ひとつない秋晴れのお天気が後半には強い雨となり予定通りに無事終了とはいきませんでした。秋の森を楽しめた活動となりました。

午前中の活動は苗づくりで始まりました。樫棒さんの説明を聞き、森に生えているミズナラ、カエデ、クリ、ホウなどを親子で掘り取りポットに移植しました。ドングリを拾ってポットに播種し、昨年の隊員たちが播いた種から育ったハルニレの苗をポットに移植して苗床に並べ、木を育てるための苗づくりを体験しました。



上がります。台風の影響で折れてしまった大きな桜の木も見ました。

秋の森を観察しながら避難小屋まで歩いて、焚火のまわりでお昼を食べました。休憩時間は樫棒さんからの熱々の焼きイモを味わったり、夢中になって枝や枯葉を燃やしたりして楽しみました。

午後の活動は、思いがけなく、焼き芋のお礼にと陣内さん親子が歌ってくれた「もみじ」の歌で始まりました。きれいな歌声が響きました！次は酒井さんの秋の森歩き② 種の話です。ホンジュラスでは種を買い取ることで木が切られることを防ぎ、森を守る工夫がされていること、ドングリは秋に発根し春が来ると発芽すること、ホウの実を糸をつけて赤い種を垂れ下げ鳥に食べさせること、マツボックリは水に浸けるとカサを閉じ、乾燥や山火事でカサを開き種を飛ばすなど種の散布には仕組みがあることを聞きました。読んでみて欲しい本「センス オブ ワンダー」も紹介されました。その後陣内さんの歌へのお礼にと、樫棒さんの指導で75歳以上の年齢幅の皆が声をそろえて「どんぐり」を歌いました。秋の澄川の森で素敵な時間を共有することが出来ました。

雨が降り始めたので、まとめと次回の予定の連絡を先にやりました。隊員からは苗作り体験が良



次は、秋の森歩き① 腐葉土の学習です。上流橋へむかう作業道わきの崖を削って土の層が見えるようにした場所で話を聞きました。腐葉土とは林床に枯れ落ちた葉っぱや枝を土の中にある菌やミミズなどが時間をかけて分解して作った土状のもので、次第にその下にある黒い土(表土)になって木に養分や水分を供給すると加藤さんがボードを使って説明してくれました。その後は第一樹木園で西野(澄)さんの指導のもと3回目の秋の葉っぱを採りました。季節ごとの押し花にして翌年3月にはマイリーフが出来



かったとの感想が多く、保護者からは親も新しい発見があった、自然の大切さを知った、子供たちが植えた苗が大きな木に育つことが楽しみなどの感想が出されました。

強い雨の中、第二小屋への帰り道でコクワや山ぶどうを急いで採りました。残念ながら森の恵みを味わう活動をゆっくり楽しむことは出来ませんでした。6月に隊員が炭焼き窯に薪入れをし、7月に火入れして出来た炭とクリを貰って解散しました。（文・佐野）



◆澄川南小学校6年生記念植樹

10月初めに記念植樹の話があり学年担任と打合せの結果10月18日に実施したい意向で樹種、植樹場所、記念看板手配を酒井さんと打合せ、樹種はイタヤカエデ、ナナカマド各1本、植樹場所は生徒が澄川の森に入る入口付近で、記念板は木心庵に手配し、当日に間に合うように事前に学校に持ち込み生徒が文字書、色付け等でカラフルに仕上げました。



植樹場所は事前に笹狩りを済ませ生徒が順番に穴掘りを開始しましたが笹の根が張って苦戦。協会員が協力して穴掘りを終え、植樹、埋め戻し、水やりを全員で行い記念樹看板を取付け生徒全員で記念写真

を撮った後、3年前に樹木園付近で行ったマイツリーを観察、自分たちの樹名板を見つけて感慨ぶかけでしたが先日の台風でマイツリーが幹折れたグループは寂しげで手を合わせている生徒もいました。

マイツリー観察後、再び植樹場所に戻り協会員の手で八掛け支柱も取つき、生徒からお礼の言葉を頂き記念植樹会を終えました。道路から直接見える為、近くにきた折は成長している記念樹を見守って頂ければと思います。（文・大窪）



◆澄川南小学校3年生樹名板取付け

マイツリー選木前の6月4日初めて澄川の森にやって来てマイツリーエリアで自然観察と葉っぱの話を経験しました。



8月31日マイツリー選木を森で予定していましたが当日朝は大雨で滑って怪我の危険性もあり担当先生と打合せの結果中止としました。

学校のスケジュール予定もあり森に来て選木する時間は無くなったために、協会で選木したリストから選んで頂く事となり10月3日学校に樹名板と取付け紐を持ち込み作成に入りました。



樹名板は事前に杉本さんが自宅で板（ミズナラ、シナノキ、シラカンバ）の表面を仕上げたもの（16グループ×3枚＝48枚）をそのまま使用できて助かりました。表面が綺麗なためか細かい字、絵も色鮮やかに例年より華やかに見えました。

10月22日樹名板を取付けに68名の生徒が森にやって来ました。選木した樹と初対面で事前に打ち込んだ杭に各グループが樹名板を取付け、完了したグループから周長を測り数年後に再測定してマイツリーの成長を感じてもらえると思います。

この後キャリコ橋の上で酒井さんから、種は風・川・野生動物によって運ばれ稚樹となり樹と生長する話の後に、“ドングリから出てい



る髭（ひげ）は何だ？”子供達から芽とか根とかの回答があり、今出ているのは根で春先になると同じところから芽が出て樹に成長する話に聞き入っていました。

今回も2時限の学習予定でしたが、樹名板取付け後の自然観察の時間が少し足りなかったと思いました。（文・大窪）



■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樞棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・西野(悞)・矢澤

1. 第二回理事会 議案読み合せ
2. 2018年11月、12月スケジュール
3. 親子森林教室・・・2019年度親子森林教室の予定
4. 森林・山林多面的機能発揮対策・・・消耗品購入の確認
5. 澄川南小3年生樹名板設置、6年生記念植樹報告
6. 忘年会準備(12月4, 5日 白老町虎杖浜温泉、白老陣屋立寄り)
7. チカホ展示・体験(12/7)準備・・・(コースター作り体験、協会紹介パンフ配布)
8. 1月冬季セミナー(1月18日、札幌エルプラザ)
 - ・会員例会：伐木安全講習(1/9実技、1/18座学)・・・矢澤、矢野、酒井
 - ・講演『カンボジア寺子屋状況(仮称)』 札幌ユネスコ協会 中村様
9. 現場対応他
 - ・11/10：体験入会者3名澄川訪問・・・お世話係を協会員が担当
10. その他
 - ・澄川駐車場の除雪委託・・・三幸建設工業
 - ・2018年11月会計報告

◎新入会員の紹介：松藤 研さん 市内南区在住、趣味は家庭菜園・読書・アウトドアなど

■活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
10月14日(日)	澄川	17	第5回親子森林教室(苗作り、森歩き、森の恵み)
10月18日(木)	澄川	15	清掃活動、澄川南小6年生卒業記念植樹
10月20日(土)	有明	7	ギャップ地の植栽、動物食害防止網設置
10月22日(月)	澄川	12	澄川南小3年生樹名板設置、E-4区植栽準備
10月25日(木)	有明	10	サクラ苗木に3本支柱設置、生長調査、見回り
10月27日(土)	澄川	-	降雨のため活動中止
10月30日(火)	澄川	17	多面事務局主催のチェーンソー技能・安全研修
11月2日(金)	澄川	18	A-1・E-4区植樹、E-5区作業道新設
11月6日(火)	澄川	16	E-4区地拵え、E-5区作業道新設
11月9日(金)	ラルズ生活研究C	12	幹事会
11月10日(土)	澄川	21	E-4区地拵え、E-6～8区作業道新設
11月12日(月)	澄川	11	E-4区地拵え、E-7区作業道新設、マキ作り